

令和7年度 夏季企画展

発掘調査から読み解く 南稻越遺跡

遺跡を4回、掘ってみたら・・・



講演会

「南稻越遺跡で考える －弥生と古墳の間(あわい)－」

令和7年 7月27日 13時30分より

講師 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター 主任 鈴木 篤英氏
場所 金津本陣 IKOSSA 3階 大ホール

募集開始

6月27日から



左記 QR コードより
お申込みください。
(定員 30 名)

展示解説

講演会終了後

あわらし市郷土歴史資料館
企画展示ゾーンにて

入場無料

あわらし市郷土歴史資料館
企画展示ゾーンほか
福井県あわらし市春宮二丁目14番1号
「金津本陣 IKOSSA」2階

7月5日(土)
8月31日(日)

主催 あわらし市教育委員会

協力 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

後援 福井新聞社、FBC、福井テレビ、FM 福井、福井ケーブルテレビ／さかいケーブルテレビ



郷土歴史資料館
ホームページ

7月5日^土8月31日^日

発掘調査から読み解く

南稲越遺跡

Readings from excavations Minami-inagoe Ruins

あわら市伊井地区の南稲越遺跡はこれまで4回にわたって発掘調査が行われてきました。調査によって弥生時代の終わり頃から古墳時代のはじめにかけて、集落があったことが分かりました。

本展では、そもそも発掘調査とは何をしているのか、見つかった土器からなぜ時代が分かるのかなど考古学が歴史を明らかにしていく方法を紹介します。そして、その手法を元に南稲越遺跡、かつてどのようなところだったのかを探ります。

① ナニコレ!? /



② ながーい鉄?



③ 磨かれた石



\ ④ トリかな...? /



- かがみがたどせいひん
① 鏡形土製品
(福井県教育委員会蔵)
- てつとう
② 鉄刀
(あわら市教育委員会蔵)
- まがたま
③ 勾玉
(福井県教育委員会蔵)
- とりがたどせいひん
④ 鳥形土製品
(福井県教育委員会蔵)



やよいどき
弥生土器
はじき
土師器

(あわら市教育委員会蔵)



いどわけんしゅつじょうきょう
井戸枠検出状況
(福井県教育委員会提供)

えるじがた
L 字形

いしぎねけんしゅつじょうきょう
石杵検出状況
(福井県教育委員会提供)



あわら市郷土歴史資料館

福井県あわら市春宮二丁目14番1号「金津本陣 IKOSSA」2階

TEL 0776-73-5158 FAX 0776-73-1038

(毎週月曜日、第4木曜日休館 ※これらの日が祝日の場合その翌日)

ACCESS

電車「芦原温泉駅」下車・徒歩約15分

お車 北陸自動車道「金津IC」下車・約15分 (Pあり)